

令和 6 年度事業報告書

公益財団法人全国友の会振興財団

第 1 友の会館の設置、管理、運営事業

全国各地に友の会館を設置し、管理、運営を行い友の会が公益活動を行うために必要な拠点として友の会館を提供し、その活動強化と地域への貢献をはかる。

1. 友の会館耐震診断のための調査や土地の環境調査などを行う

耐震診断が必要な友の会館ごとに対応し相談を重ねた。

2. 友の会館耐震診断

社会への働きかけの拠点である各地友の会館の安全性から新耐震基準以前の 1981 年以前竣工の建物に耐震診断を受けるように呼びかけて 2019 年より取り組んでいる。

青森友の会、金沢友の会と松戸友の会が耐震診断を行った。

3. 友の会館改修工事 諏訪 岐阜 姫路 長野 八戸

第 2 全国友の会が行う活動に対する援助・助成事業

1,050 万円

全国友の会は、家庭生活の健全な発達に力をつくし、社会の文化向上に寄与することを目的として、生活研究を行い、それをもって周囲に働きかけた。

以下の全国友の会活動に対し援助、助成を行った。

(1) 全国友の会大会

主題 「家計簿 120 年

真の合理化生活をたずねつつ 平和を願い 希望の種を育てる」

令和 5 年度の全国各地の実践の報告と令和 6 年度全国友の会の諸活動の協議を行い友の会の活動の原動力を高め刺激し合って今後の社会への働きに繋げていく。

開催日	令和 6 年 5 月 22 日	自由学園・ハイブリッド	出席	1,368 名
	5 月 23 日	日本教育会館・ハイブリッド	出席	1,406 名

(2) 生活研究会

次に掲げる各種活動の内容向上のための研究と実践

1. 子どもへの活動助成

社会情勢を踏まえて未就学児と小学生、その家庭の健全な成長を願い、社会の子どもへの活動を助成した。各地友の会が自主的に就学前の子どもと小学生、その親に対して生活講習会、早寝早起き朝ごはん全国推進協議会会員として普及、親子の集い、講演会などを全国規模で対面またはオンラインで開催した。

2. **SDGs** を目指す生活合理化啓蒙運動として下記の研究会を行った。

＊全国生活研究会

テーマ：

「羽仁もと子案家計簿 120 年 今こそ真の合理的生活を
一家庭から社会へ」

開催日 令和 6 年 7 月 18 日 19 日 自由学園明日館講堂 ハイブリッド開催

7 月 18 日 出席 1,266 名 (ハイブリッド・海外含め)

7 月 19 日 出席 1,328 名 (ハイブリッド・海外含め)

(3) 全国家計調査

全国友の会の行う家計調査 7,304 人が提出した。この調査のまとめをもって全国各地で
開催する家事家計講習会などの資料としても活用した。

(4) 機関紙「友の新聞」の発行 年 10 回

国内、海外友の会を結ぶ役目を果たし、会員と各地友の会をつないだ。

(5) 資料の整備、情報公開

友の会関連資料の一部、図書、史料のアーカイブ化及び整備管理

第 3 友の会の行う家事家計講習会に対する助成

879,106 円

全国一斉に開催される家事家計講習会会場費とオンライン開催のための助成を行った。

会場開催は延べ 109 回、お客様は 2,951 人。オンライン開催は延べ 14 回、お客様は

111 人の参加があった。会場費 419,436 円とオンライン費用 19,670 円を助成した。

他に家事家計講習会の宣伝のために SNS 広告費として 2024 年 10 月 11 月分 440,000 円
を助成した。不特定多数の方に全国で行われる家事家計講習会の開催を発信した。

第 4 社会福祉援助、災害支援

150 万円

社会福祉

アジア学院 50 万円

志染愛真ホーム 50 万円

日本心身障害児協会 50 万円

第 5 東日本大震災復興支援

30 万円

被ばくの被害から子どもたちや市民の健康と暮らしを守るために地域住民により設立
し、長期的な未来を見据えた活動を行っている「いわき放射能市民測定室 たらちね」
に 30 万円の支援をした。

第 6 維持会員の異動状況

維持会員	期首	期末	増減
	13,192 人	12,643 人	－549 人